

令和7年度 第2回さいたま市立館岩自然の家運営委員会 議事録

運営委員会事務局

1 期 日 令和8年3月17日(火)

2 場 所 さいたま市立教育研究所 第2研修室

3 開 会 13時30分

4 出席委員 (㊦：事務局)

さいたま市立大砂土小学校長

新堀 栄

さいたま市立大門小学校長

宮本 江津子

さいたま市立浦和大里小学校長

中野 緑

さいたま市立第二東中学校長

古川 明子

さいたま市ボーイスカウト協議会理事

宇田川 充

さいたま市PTA協議会副会長

富田 敏弘

さいたま市PTA協議会前常任理事

井山 智子

市民公募

大作 一美

市民公募

小田垣 透

㊦さいたま市教育委員会学校教育部館岩少年自然の家所長

伊澤 昌二

㊦さいたま市教育委員会学校教育部館岩少年自然の家所長補佐兼管理係長

西形 和人

㊦さいたま市教育委員会学校教育部館岩少年自然の家主席指導主事兼指導係長

山下 貴路

㊦さいたま市教育委員会学校教育部館岩少年自然の家指導主事

田中 雄真

5 欠席者

さいたま市立尾間木中学校長

生田 淳子

㊦さいたま市教育委員会学校教育部館岩少年自然の家主任指導主事

吉見 康之

㊦さいたま市教育委員会学校教育部館岩少年自然の家指導主事

佐藤 淳

6 公開・非公開の別 公開

7 傍聴者数 なし

8 議事等の概要

【所長あいさつ】

○令和7年度自然の教室(冬季)の実施状況について

○令和8年度の準備について

議事進行を宇田川委員長に交代

【協 議】

議題（１） 令和7年度自然の教室冬季実施プログラム、各種アンケート結果等について

指導係 田中 ○冬季自然の教室実施状況について
○利用の効果、利用についてのアンケートについて
○非認知能力効果測定について
○傷病者の対応について
○成果と課題について

<質問、意見>

委員 新堀 実施率98%は何を指すのか。
非認知能力のアンケートの数値はどう出すのか。
骨折3名の状況は。
スキー指導者は資格を有するのか。

指導係 田中 感染症の拡大のため、1校が自然の教室未実施のため、98%となっている。
4件法で生徒に伝えてもらったアンケート。3と4が肯定的な回答。その「平均値を出している。

所長 伊澤 スキーで転倒した後、立ち上がろうとした際、手、足をついて骨折が2名。
自然の家の大浴場でふざけていて転倒し、骨折が1名。
スキー指導者は現在町民のボランティアをお願いしている。資格を持っていない方もいる。来年度からは全員資格を持った方をお願いする。

委員 宇田川 初めてスキーをする生徒がほとんどのようだが、スキー班は一緒なのか。

指導係 田中 事前に学校で、技能別に班を作成している。初心者と経験者が同じ班で活動することはない。

委員 井山 学校生活で不安を抱えている生徒が参加に意欲を示す方法はあるか。

指導係 田中 生徒一人ひとりの状況に応じて助言していく。館岩の様子等を伝えて、本人の興味関心を引き出すことができるのではないかと。事前に家族で下見をしている家庭もある。先生の予想を超える成果をあげていることもある。学校からの相談を受け、可能な範囲でサポートさせていただいている。

所長 伊澤 所定の手続きを経て、自然の家に保護者が宿泊することも可能である。

委員 古川 1月に本校がお世話になった。子どもたち充実した活動ができた。雪灯籠も試行錯誤しながら活動し、学年レクも事前準備から学年全体で動くことができた。非認知能力が向上していることがよく分かる。自分たちの自信となり、次学年へとつながる。不登校の生徒も参加でき、とてもよかった。成功体験が積み重なった。

議題（２） 令和7年度自然の家利用状況について

指導係 田中 ○館岩少年自然の家利用状況について

<質問、意見>

委員 新堀 とくさ館団体数その他5、からまつ館団体数その他3、合計7とはどういう意味か。

委員 宇田川 総計数も変わってくるのか。

所長 伊澤 現地研修会でとくさとからまつに分かれて宿泊しているため。

委員 新堀 その他とはどんな団体なのか。

指導係 田中 東京大学の連携事業「むし・ほし・いし」の団体、さいたま市から体験の風をおこそう運動推進事業「夏休み親子の集い in 南会津」、「白銀の会津高原・家族の集い in 南会津」の団体が利用した。

委員 大作 社会教育団体の利用がないが、近年の状況はどうか。

管理係長 西形 学校を受け入れている期間、その準備期間を考えると、受け入れが難しい。過去には受け入れていたこともあったが、近年はない。

協議（３） 令和７年度予算の執行状況

管理係長 西形 ○少年自然の家予算執行状況（歳入）について
○少年自然の家予算執行状況（歳出）管理運営事業について
○少年自然の家予算執行状況（歳出）野外活動事業について

<質問、意見>

委員 小田垣 バス輸送費が５３％。補助金の処理未完了のためか。

管理係長 西形 そうである。

議題（４） 白銀の会津高原家族の集い in 南会津

指導係 田中 ○スライドの視聴

<質問、意見>

委員 大作 申込数はどのくらいか。

指導係 田中 ２４家族応募があった。昨年度は予算をとり、貸し切りバスを手配したが、今年度は予算がなく、自家用車での参集となったため、昨年度より応募数は減った。最終的には１１家族の参加となった。

委員 大作 来年度もっと内容をPRし、予算も確保して応募数を増やしてもらいたい。

管理係長 西形 ここ２年ほどは国の委託事業から予算を捻出しており、公費措置はしていない。

協議（５） 令和８年度館岩少年自然の家実施計画年度自然の教室実施委員会契約

管理係長 西形 ○実施計画について
○南会津町の学校との交流の日程について

<質問、意見>

委員 中野 南会津町の学校と交流する学校は増えたか。

所長 伊澤 今年度と同じ３校である。

委員 中野 今年度と同じ学校同士で交流するのか。

所長 伊澤 来年度川通小が田島小との交流となる。他２校は今年度と同じである。

委員 中野 それぞれが交流するのか。

所長 伊澤 そうである。

委員 中野 交流の内容はどのようなものか。

所長 伊澤 さいたま市の学校が行っている活動を一緒に行っている。登山、オリエンテーリング、川魚さばき等である。南会津町の学校が宿泊できるようであればキャンプファイヤーを行ったこともある。

委員 中野 南会津町のことを教えてもらうようなこともするのか。

所長 伊澤 それもある。自然の教室当日だけでなく、事前事後にオンラインビデオ通話を行い、交流をしている例もある。

委員 中野 感染症で参加できなかった学校は、別日で実施計画に入れることは可能か。

所長 伊澤 卒業式前後の空いている部分に入れることも可能だという提案もさせていただいた。最終的には学校判断で代替措置をしないとなった。即中止というわけではない。

委員長 宇田川 さいたま市の子どもは館岩に全員行き、思い出を共有できる素晴らしさがある。多くの児童生徒が参加できるようにしていただきたい。

議事進行事務局へ交代

【閉 会】

管理係長 西形 ○各委員からの挨拶。
○委員への感謝。

7 閉 会 14時36分